

雑 録

外科手術講習

動物に種々実験を行ふ際外科の手術を必要とする場合が多くなつた、然るに醫學出の人でなければ外科の手術の練習をする機会が殆んどない、それに數年前から毎年 Cold Spring Harbor の生物實驗所では専門家を聘して此方面の講習會を開くことにした、今年の夏はイエール大學の醫學部解剖學の教授 EDGAR ALLEN が講師となることに決定した、我邦でも此種の講習會を希望する。 (谷 津 直 秀)

ハリナガフクロウニの學名

圖鑑にハリナガフクロウニ (*Asthenosoma gracile*) の名で記載してあるのは徳永氏の *Asthenosoma longispinum* と同物であるが *Asthenosoma* 屬のものでない、*Calveriosoma gracile* (A. AGASSIZ) とすべきものゝ由 MORTENSEN よりの私信に書いてある。 (谷 津 直 秀)

スロイターの星蟲と誤つたイソギンチャク

動物學雜誌 4 月號 155—157 頁に佐藤隼夫氏の蒼鷹丸採集品に關しての論文が掲載してあるが、嘗て丘淺次郎教授からスロイターが論文出版直後に此動物を訂正したことを承つてゐたから 今度 同氏に御願してどこに出版されてゐるかを教示していただいた、それは Zool. Anzeiger 12 Jrg. 1889 pp. 47, 48 にある正誤で "Berichtigung" なる表題で *Diphtera oktoplax* はイソギンチャクであつたと訂正してある。 (谷 津 直 秀)

星蟲類似のイソギンチャク

本誌第 46 卷 4 月號 155—157 頁に佐藤隼夫氏の記載した *Diphtera oktoplax* に近縁の蒼鷹丸採集の標本の種名は恐らく *Edwardsia sipunculoides* (STIMPSON) と同定すべきものと思はれる。同種はその名の示すやうに星蟲類似のものとして知られ北アメリカの太平洋北岸からは STIMPSON, VERRILL, TORREY 等の人々によつて數度報告された種類である。 (内 田 亨)

ダニの脚に就いて

ダニでは御承知の如く larva の脚は 3 對, nymph の脚は 4 對 (larva, nymph 等の語の用法は G. PIEKARSKI のそれによる)。この最後に顯れる 1 對が第何對目の脚かといふことが永く問題になつて居た。小生これは幼虫の脚を切つて變態させれば直ぐ分る筈のことと思つてゐたところ、最近の Zool. Anz. (Bd. 106, S. 1) を見ると PIEKARSKI がかゝる實驗をした報告が出て居る。

今迄の研究家の間では最後の 1 對の脚は larva の第 1 對と第 2 對との間に顯れるといふ意見、又は第 2 對と第 3 對との間に顯れるといふ意見、又は第 3 對の更に後方に顯れるといふ意見等あり一致を見なかつた。PIEKARSKI は、*Argas persicus*, *Argas reflexus* を材料とし、脱皮直前にある幼虫の一側の脚 3 本全部を切り然る後脱皮せしめることによつて上述最後の意見が正しいことを決定的に明かにした。

(丘 英 通)

パリーの Muséum

H. O. 生の面白い「Musée か Muséum か」の記事中に「パリーの Jardin des Plantes にある博物館は Muséum d'Histoire Naturelle といひ」の句があります、事實さうであります、Jardin des Plantes は園の通俗名で正式には園そのものを不合理にも Muséum d'Histoire Naturelle と申します。

(谷 津 直 秀)